

# 平成 29 年度 山形県行政支出点検・行政改革推進委員会 第 3 回 会 議 会 議 概 要

◇ 日 時 平成 29 年 12 月 4 日（月） 14：00～15：25

◇ 会 場 県庁 1001 会議室

◇ 出席委員

委員長 高橋和

委 員 岡田新一、尾形律子、佐藤亜希子、清野洋輔、三浦新一郎、三木潤一  
（欠席：山上絵美）

〈五十音順、敬称略〉

## ■委員の主な意見等

### 議事（1） 公社等の総点検について

〈発言順〉

#### 〈山形ジェイアール直行特急保有株式会社〉

（三浦新一郎委員）

- 当社の財産はこれを見ると長年の黒字の累積によって大幅な資産超過になっている。利益部分を県民など利用者へ還元する良いタイミングだと思う。
- 契約の見直しを契機に即効性がある利便性向上策に繋がるような施策を検討すべき。

（三木潤一委員）

- どのような観点や基準から今後のあり方の検討をして結論を下す見通しなのかお尋ねしたい。

（高橋和委員長）

- この会社を J R 東日本に譲渡することによって、山形県側の発言力が低下するおそれはないか。
- 委員会として事務局案の方向性で「妥当」とする。

#### 〈山形空港ビル株式会社〉

（佐藤亜希子委員）

- 山形空港、庄内空港共に、インバウンドの拡大に向けた具体的な展開が必要だと思う。定期便の実現に向けた動きはあるか。インバウンドとアウトバウンドの両面から計画を立てて、需要と供給のバランスを図る必要があると思う。
- 山形空港に観光スポットになるような機能を持たせて、賑わいのある場所にしていくような取組みを期待したい。

（清野洋輔委員）

- 新幹線ではなく飛行機を利用するメリットについて伺いたい。
- 発着時刻は県民が利用することを考えて設定しているのか。来県者向けの設

定になっているのか。

(高橋和委員長)

- 委員会として事務局案の方向性で「妥当」とする。

#### <庄内空港ビル株式会社>

(岡田新一委員)

- 空港の将来の姿を見据えた事業の拡大を引き続きお願いしたい。
- 陸の新幹線と空の飛行機の連携など、利用拡大に向けてより一層取組みを進めてほしい。

(高橋和委員長)

- 委員会として事務局案の方向性で「妥当」とする。

#### <山形鉄道株式会社>

(佐藤亜希子委員)

- 沿線住民にとって重要な交通手段であり、観光資源としての利活用も大きな可能性があると思う。継続については問題ないと思う。
- 県民を挙げて山形鉄道を盛り上げていく視点がもう少し必要ではないか。直接の受益者とそうでない県民との意識の差を埋めていくような情報を積極的に発信してほしい。

(三木潤一委員)

- 追加資料として他の第三セクターとの比較表をいただいたがどう見ればよいか、現状と比較して、どのような改善の余地があるのか説明してほしい。

(尾形律子委員)

- 地域に住んでいる方にとって必要不可欠な交通手段ということは理解できる。
- 助成金は5年間に限られているのか。そうであれば、それ以降の見通についてももう少し詳しくお伺いしたい。

(高橋和委員長)

- どうやって経営の健全化を図っていくか、悩ましさはあるが、これがないと高校生たちが暮らしていけないという以上、必要性を認めざるを得ない。
- 委員会として事務局案の方向性で「妥当」とする。

#### <山形県生涯学習文化財団>

(高橋和委員長)

- 特に意見がないようなので、事務局案の方向性で「妥当」とする。

## <やまがた教育振興財団>

(三木潤一委員)

- 当初の設立の経緯等を踏まえたとしても、教員を目指す学生だけを奨学金の対象とするのではなく、もう少し広い支援先を考えてはどうか。

(高橋和委員長)

- 平成 16 年当時の条件に縛られる必要はないのではないか。山大生だけでなく、県外で学んで山形に帰ってくる方にも対象を広げることも考えてはどうか。
- それほど問題がある状態ではないので、委員会として事務局案の方向性で「妥当」とする。

## <山形県私立学校振興基金協会>

(高橋和委員長)

- 特に意見がないようなので、事務局案の方向性で「妥当」とする。

ま と め
-------

(高橋和委員長)

- 個別に議論するだけでなく、色々連携して総合的に考えなければいけない場合もあると思う。個別の判断が良いか悪いかというところからもう一步踏み込んで、お互いの関係性の中で議論をしてほしい。

以上